

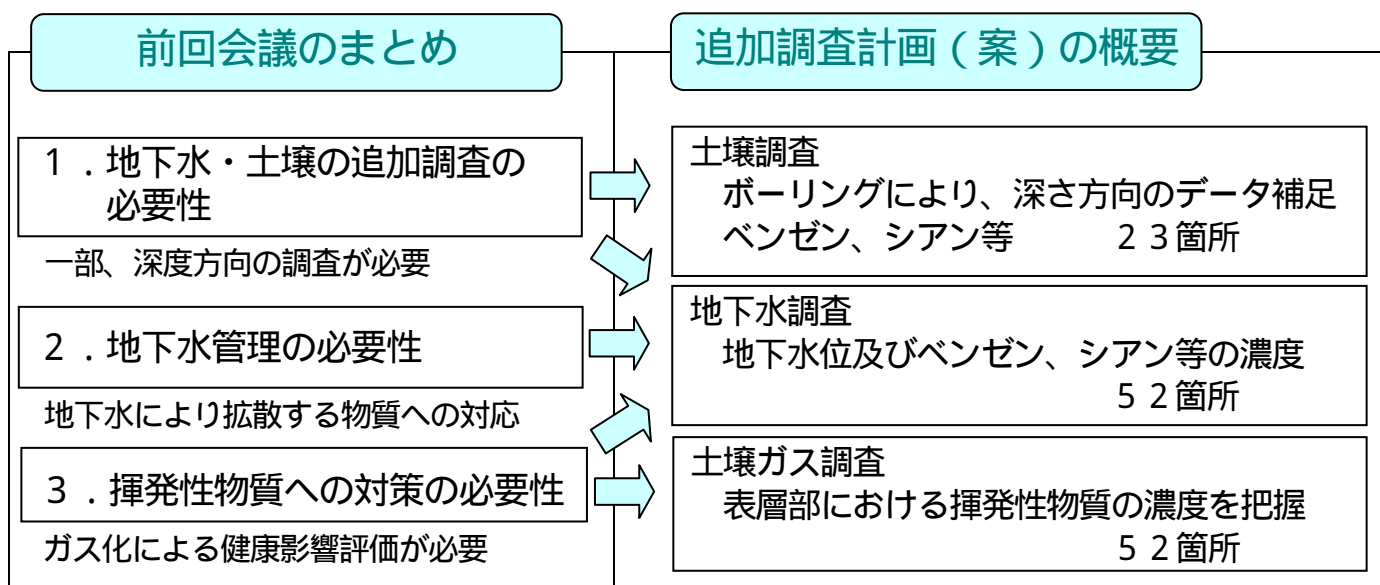
# 豊洲新市場予定地における 土壌汚染対策等に関する専門家会議

第2回（平成19年6月30日実施）



## 豊洲新市場予定地の「土壌汚染対策の妥当性」を専門家の目で検証します

- ・会議に先立ち、委員4名で、豊洲新市場予定地の視察を行いました。
- ・今回の会議では、「第1回会議」で指摘された事項等を踏まえ、追加調査計画（案）などについて、検討を行いました。



## 東京都からの主な説明

地下水・土壌の追加調査計画（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水質、地下水位、土壌ガスの調査地点</li> <li>・土壌汚染物質について、深度方向に補足が必要な調査地点</li> </ul>
液状化対策の工法・地下水管理の考え方	今後、地下水対策及び管理の目的に沿った、液状化対策の工法及び地下水管理の考え方
PCB及びダイオキシン類の状況	東京ガス（株）が実施した調査結果

## 主な討論

## 委員の意見

追加調査計画（案）への調査項目の追加

- ・ 深さ方向に連続した土壌サンプルの採取も必要
- ・ 有害物質の移動を把握するため、深度方向により間隔を狭めた調査も必要
- ・ 土壌中の油臭、油膜等の把握も必要

地下水の管理

- 地下水の上昇の防止のために
- ・ 砕石層を設けることは有効
  - ・ 雨水を地下に浸透させない対策が効果的

液状化対策工事と兼ねた地下水の浄化

- ・ 液状化対策で地盤に打ち込む砂杭にベンゼンを分解する材料を入れることも有効

PCB及びダイオキシン類

- ・ 埋立時期および東京ガス（株）の調査結果から新市場予定地内のPCB及びダイオキシン類は、汚染土壌処理基準及び環境基準を満足していると考えられる

## 今回の討論のまとめ

東京都の追加調査計画（案）66箇所に委員からの意見を踏まえた調査項目を追加

（地下水・土壌ガス調査：52箇所、土壌調査：23箇所、うち重複9箇所）

雨水の浸透防止、ベンゼンの浄化方法等について、検討が必要

## 現況排水調査の報告 ～速報値～

豊洲新市場予定地の現況の排水について、水質調査結果の速報値を報告

### 【東京都報告】

pH（水素イオン濃度） → 約10～11

### 【委員の意見】

地盤改良等に伴う石灰、セメント固化材の影響と考えられる

EC（電気伝導率） → 180～230 mS/m

特に高い値ではない。海水の影響が大きいと考えられる

次回の会議で確定値を報告

次回の会議は、平成19年8月25日（土）を予定しています

詳細は、決定次第、ホームページ上でお知らせします